

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2303143	博物館情報論 On Information Museum Provides	木田 歩	専門	1	選択	3年 後期
科目の概要						
博物館における情報の意義やその役割について理解し、博物館の情報の提供と活用等に関する基礎的能力を身に付ける。						
学修内容			到達目標			
① 博物館における実践例を通じて、博物館情報に関する基礎を理解する。 ② インターネットや SNS 等のメディアも参照しつつ、博物館情報の提供や活用の具体的な方法について知る。 ③ グループで地域の博物館を調べ、博物館の情報提供の現状について考察する。			① 博物館における情報の意義やその特性について説明することができる。 ② 博物館の情報の提供と活用の重要性について述べることができる。 ③ 地域の博物館の情報提供の現状について、協力しながら示すことができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	講義だけでなく、情報活用実践や成果発表を通じて、博物館における情報の役割に関する課題を自主的に探究することができる。				
	働きかけ力					
	実行力	資格取得の目標を明確にししながら、提示された課題を着実に実行することができる。				
考え抜く力	課題発見力	観察事例や記録を通じて情報を分析し、課題を見出すことができる。				
	計画力					
	創造力	博物館見学において、利用者の行動に関心を向けながら、情報の重要性を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	成果発表や課題レポートにて、整理した内容を的確に表現できる。				
	傾聴力	グループワークで、メンバーの意見を確認しながら、意見を理解することができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	グループワークにて、集団のルールを理解し、ふるまうことができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト: 使用しない。 参考文献: 必要に応じて、講義内で紹介する。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 視聴覚教育メディア論 関連する資格: 博物館学芸員						
学修上の助言			受講生とのルール			
博物館法は、博物館学芸員資格を取得する上で、とても大切なルールです。文化庁 Web サイト内「博物館の振興」のページから、「博物館関係法令」を検索・閲覧し、授業に参加してください。						

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	25	① ✓ ② ✓ ③ ✓	・科目全体に関する課題レポート。科目全体を総括し、受講生自身の見解が的確にまとめられていることを評価する。
成果発表 (口頭・実技)	45	① ✓ ② ✓ ③ ✓	・各受講生による博物館の情報提供の記録に関する成果発表(10点)。記録内容が明確に示されることを重視する。 ・博物館見学に関する成果発表(15点)。具体的な観察事例をもとに、博物館における情報の役割を提示できていることを評価する ・グループワークにて、地域の博物館の情報提供の現状を考察した成果発表(20点)。資料の準備や発表時間の編成等、聴き手への配慮を試みているものを評価する。
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓	・受講態度(欠席、遅刻、学修意欲欠如)が見られる場合は、欠席は2点、遅刻・学修意欲欠如は1点を減点とする。 (主体性) ・情報化社会における博物館で活動するという目的意識を持って、授業に臨むことができる。 (実行力) ・資格取得という目標を立てた上で、レポートや成果発表等課題に取り組むことができる。 (課題発見力) ・博物館見学や日常生活での観察を通じて、博物館情報の提供に関する課題を見出すことができる。 (創造力) ・博物館見学を通じて、利用状況を体験することから、博物館における情報の重要性を考えることができる。 (発信力) ・成果発表やレポートにて、情報を的確にまとめ、具体的に提示することができる。 (傾聴力) ・協力しながらグループワークを進めていくことができる。 (規律性) ・全授業を通して、支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進むようにルールを守ることができる。
その他	20	① ✓ ② ✓ ③ ✓	・2/3以上の授業に出席し、レポート提出・成果発表を行った学生のみ評価の対象とする(10点)。ただし、授業の出席は前提条件のため、出席点は加味しない。 ・見学する博物館へ向けた「質問書」を作成する(10点)。要素や構造が適切に配置されていることを評価する。
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
最終課題レポートにおいて、博物館の情報提供のあり方にもとづきながら、博物館における情報の役割や今後の課題について意見を示すことができることを、A(優)の目安とする。 さらに、社会的な状況に照らし合わせながら提示することができることをS(秀)の目安とする。	最終課題レポートにおいて、博物館の情報提供や活用の現状と特性を、具体的な事例を参考にして説明することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	シラバス等をもとに、学芸員資格科目としての概要を理解する。	各受講生へ質問しながら、資格取得の意思を確認する。	取得希望資格と本科目の関係性を理解することができる。	(予習)これまで利用してきた博物館の情報について調べておく。	60	主体性
2週 /	博物館における情報のあり方について学ぶ。	海外の博物館のドキュメンタリーを視聴する。	博物館における情報の役割を理解することができる。	(予習)見学する博物館に関する情報を調べておく。	60	主体性
3週 /	博物館見学の準備。見学を通じて、情報の提供や活用の具体的な方法について学ぶ。 *見学授業は「博物館経営論」内で実施。2カ所・週末開講予定。	各博物館の情報提供や活用方法の特徴を調べて、見学先の博物館に向けて「質問表」を作成。成果発表課題出題。	見学を通じて、博物館における情報のあり方を理解することができる。	(予習)日常生活のなかで出会う博物館情報を、2週間記録し、まとめておく。	120	主体性 課題発見力 創造力
4週 /	博物館に関する情報提供のあり方を知る。	まとめた記録内容を、各自発表する。	形態的視点から、博物館に関する情報提供のあり方を理解することができる。	(予習)見学内容と課題を照合せながら、成果発表に向けて準備をする。	180	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力
5週 /	博物館の情報の役割を理解するために、情報提示の基礎を身に付ける。 *「博物館経営論」とセット	確認表を参照しながら、成果発表を最終調整する。	形式面と内容面から、伝えるための成果発表にまとめることができる。	(復習)他の受講生の発表内容と比較しながら、情報提供のあり方をまとめておく。	60	実行力 発信力
6週 /	博物館に関する情報の種類を学ぶ。	見学先の博物館を参考にしながら、講義する。	博物館に関する情報のあり方を体系的に理解することができる	(予習)インターネットを活用しながら、東海地区の情報発信のあり方を調べておく。	60	主体性
7週 /	グループで地域の博物館を調べ、情報提供の現状について考察する①	グループワーク課題提示 グループによる意見交換	博物館の情報発信の可能性を理解することができる。	(予習)グループワークに備え、身近な博物館を調べておく。成果発表の準備を行う。	180	実行力 傾聴力 規律性
8週 /	グループで地域の博物館を調べ、情報提供の現状について考察する② 科目全体のまとめを行う。	グループ発表 最終レポートの課題解説の上、グループ発表と全講義を振り返る。	地域の博物館情報のあり方を協力しながら発表することができる。 博物館における情報の役割を説明することができる。	(復習)他のグループの内容も含めて発表を振り返りながら、課題内容を把握し、レポートを作成する。	180	実行力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

